

本県の今後の対応（案）

令和2年11月18日

1 「福井県感染拡大注意報」発令

県内の感染状況をふまえ

「福井県感染拡大注意報」を延長

○期間 11月13日（金）から11月26日（木）まで
※今後感染状況に応じて変更の可能性あり

○内容

（1）感染対策の再徹底

- ・ マスク着用の徹底
- ・ 換気の徹底など「三密」を回避
- ・ 毎日の検温など体調管理の徹底
- ・ 県外訪問先における感染対策の徹底
- ・ 「感染防止徹底宣言」ステッカーの掲示

（2）感染リスクが高まる5つの場面に徹底注意

(1) 感染対策の再徹底 ※県民行動指針の確認

- ①マスク着用の徹底
 - ・ 飲酒・会食などマスクを外したときには、感染対策を徹底
- ②換気の徹底など「三密」を回避
 - ・ 気温が低い時期でも、定期的に換気
- ③毎日の検温など体調管理の徹底
 - ・ 体調不良の場合は外出しない
 - ・ 発熱等の症状がある場合は、かかりつけ医もしくは「受診・相談センター」へ
- ④県外訪問先などにおける感染対策の徹底
 - ・ 訪問先でも、来県者にも上記の感染対策を徹底
- ⑤「感染防止徹底宣言」ステッカーの掲示
 - ・ 業種別ガイドラインを遵守し、感染防止徹底宣言ステッカーを掲示
 - ・ 会食などの際には、ステッカー掲示店を利用

(2) 感染リスクが高まる「5つの場面」に注意

注意力の低下や気の緩みなどにより、感染リスクが高まる「5つの場面」に注意

- ① 飲酒を伴う懇親会等
- ② 大人数（5人以上）
や長時間におよぶ
飲食
- ③ マスクなしでの会話
- ④ 狭い空間での
共同生活
- ⑤ 居場所の切り替わり
(休憩所、喫煙所、
更衣室など)

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事と比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしで近距离で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることがある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



(新型コロナウイルス感染症対策分科会資料から抜粋)

(3) 感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

忘年会や新年会、親戚の集まり等の会食は、「感染リスクを下げながら楽しむ」工夫をして実施する。「**センス**ある会食」

<県民のみなさま>

(1) 飲酒をする場合は

- ①少人数・短時間で
- ②なるべく普段一緒にいる人と
- ③深酒・はしご酒は控え、適度な酒量で

(2) 箸やコップは使い回さず、一人ひとりで

(3) 座席の配置は斜め向かいに（正面や真横はなるべく避ける）

(4) 会話する時はなるべくマスク着用

または、扇子やハンカチ、おしぼりなどで口元を覆う

(5) 「感染防止徹底宣言」ステッカー掲示店舗を利用

(6) 体調が悪い人は参加しない。

※披露宴など、大人数にならざるを得ない場合、主催者はガイドラインを遵守し、
・テーブルの人数を少人数に
・テーブル間の移動は控える など工夫を



抗ウイルス機能のある扇子
(越前和紙)

<事業者のみなさま>

(1) 業種別ガイドラインの遵守（従業員の体調管理、換気の徹底等）

(2) 利用者に上記の留意事項の遵守や接触確認アプリ（COCOA）導入を呼びかけ

3 評価指標の見直し（感染状況の評価レベル）

- 患者数5人で注意報、20人で緊急事態と設定した当時（5/15）から条件が変化。
次に感染が拡大した際、積極的なPCR検査により患者が増加しても、病床数増加、入院日数の短縮化により受入は可能

| 項目 | 当初（5/15） | 現状（11/1） | 備考 |
|---------------|----------|-----------------|----------------------|
| PCR検査可能件数（件） | 224 | 550 | 店名公表等による早期検査・早期発見 |
| 病床数（うちICU）（床） | 131（14） | <u>215</u> （24） | 6/1～ 176床 7/30～ 190床 |
| 平均入院日数（日） | 21.6 | <u>13.6</u> | <u>国の退院基準の見直し</u> |

- 新規感染者の数のみでなく、感染状況に応じて、その都度判断することが必要
そのため、新規感染者数は発令の目安として人数の幅を設定

| | | | |
|------|-------|---|-------------|
| 注意報 | 5人/週 | → | 概ね10人～20人/週 |
| 警報 | 20人/週 | → | 概ね30人～40人/週 |
| 特別警報 | 50人/週 | → | 概ね60人～80人/週 |
- あわせて病床数についても、人数の幅を設定

第2期
検証

| | | 注意レベル | ステージⅠ | ステージⅡ | ステージⅢ | |
|--------|--|--------------------------|--------------------------|---------------------------|-------------------|-----------------|
| | | 注意報 | 警報 | 特別警報 | 緊急事態 | |
| 医療提供体制 | ①病床のひっ迫具合 | | | | | |
| | 病床全体 | 現時点確保病床数（215床）の占有率 | 10%程度 (20～30床) | 20%程度 (40～50床) | 20%程度 (40～50床) | 25%以上 (54床) |
| | うちICU | 現時点確保病床数（24床）の占有率 | 10%以上 (3床) | 20%以上 (5床) | 20%以上 (5床) | 25%以上 (6床) |
| | ②療養者数 | 全療養者数 (人口10万人あたりの数) | — | — | — | 115人以上 (15人) |
| 監視体制 | ③PCR陽性率 | — | — | — | 10% | |
| 感染の状況 | ④直近1週間の新規感染者数 ※ (人口10万人あたり1週間の新規感染者数) | 概ね10人～20人 (1.2人～2.5人) | 概ね30人～40人 (3.8人～5.1人) | 概ね60人～80人 (7.6人～10.2人) | 115人以上 (15人) | |
| | ⑤直近1週間と先週1週間の比較 | — | — | — | 直近>先週 | |
| | ⑥感染経路不明割合 | — | — | — | 50% | |

※目安の人数。感染経路数や今後の感染拡大の可能性などを考慮し、総合的に判断

4 県境をまたぐ移動

- ・ 現在、人口10万人あたり新規患者数2.5人以上/週の都道府県について「感染拡大注意地域」として、移動について「慎重な判断」を要請
- ・ 「移動」（行く・行かない）の判断より感染状況に応じた、訪問先における行動が重要
- ・ 県民一人ひとりが訪問先の感染状況を把握し、感染対策を徹底

第2期
検証

| 項目 | 現状 | 変更後 |
|--------|---|---|
| 目的 | 移動について注意喚起（慎重な判断） | 訪問先における行動の注意喚起 |
| 情報提供内容 | 感染拡大注意地域 （人口10万人あたり新規患者数2.5人以上/週の都道府県） | ・ 全国の人口10万人あたりの新規感染者数/週の状況 ・ 全国流行状況の評価（クラスター事例など） （厚生労働省アドバイザリーボード資料抜粋） |

【訪問先における感染対策（例）】

- ・ 会食は少人数（4人以下）、短時間で
- ・ 訪問先を最低限に限定
- ・ 全国でクラスターが発生している施設の利用を控える

5 イベント開催の制限等

下記のイベント開催の制限の期間を延長

11月30日まで → 令和3年2月28日まで

| 時期 | イベントの種類 ※1 | 人数上限 | |
|--------------------------------|--|---|-------------|
| | | 収容人数1万人以下の施設 | 収容人数1万人超の施設 |
| 2/28 9/25~ 11/30 | 大声での歓声・声援等がない ことを前提としうるもの (クラシック音楽コンサート、 演劇等、舞踊、伝統芸能、 式典、展示会 等) | 収容人数の100%以内 もしくは 5,000人以内 の小さい方 | 収容人数の50%以内 |
| | 大声での歓声・声援等が想定 されるもの (ロック、ポップコンサート、 スポーツイベント、公営競技、 ライブハウスでのイベント等) | 収容人数の50%以内※2 もしくは 5,000人以内 の小さい方 | 収容人数の50%以内 |

※1 実際のイベントがいずれの類型に該当するかは個別具体的に判断する。

※2 異なるグループ間では座席を1席空け、同一グループ(5人以内に限る。)内では座席間隔を設けなくてもよい。
(そのため収容率50%を超える場合がある。)